

【様式例】 ※日本工業規格A列4番の大きさの用紙で提出してください。

事業年度終了日を記載してください。

## ○年度 財産目録

年 月 日現在

特定非営利活動法人○○○○○○

(単位 千円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金		○○○	
普通預金	銀行 支店	○○○	
未収金	会費 名分	○○○	
流動資産合計			○○○
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン1台		○○○	
歴史的資料		評価せず	
*****		○○○	
有形固定資産合計			○○○
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア		○○○	
*****		○○○	
無形固定資産合計			○○○
(3) 投資その他の資産			
敷金		○○○	
*****		○○○	
投資その他の資産計		○○○	
固定資産合計			○○○
資産合計 (A)			○○○

口座番号は記載しないでください。

基本的に貸借対照表上の金額と同じ金額を記載します。

金銭的評価ができない資産については「評価せず」として記載できます。

II 負債の部						
1 流動負債						
短期借入金	銀行	支店		〇〇〇		
未集金				〇〇〇		
預り金				〇〇〇		
****				〇〇〇		
流動負債合計					〇〇〇	
2 固定負債						
長期借入金				〇〇〇		
****				〇〇〇		
固定負債合計					〇〇〇	
負債合計 (B)						〇〇〇
正味財産 (A) - (B)						〇〇〇

貸借対照表の「正味財産」と合致することが必要です。

\* 財産目録は、常に、事務所に備え置く必要があります。

該当する項目のみ記載する

### 計算書類の注記

#### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

##### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

##### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

「重要な会計方針」の一番最初に、この計算書類をどの会計基準に基づいて作成したか記載する。

#### 2. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得 価額	取得	減少	期末取得 価額	減価償却 累計額	期末帳 簿価額
有形固定資産 什器備品		〇〇〇		〇〇〇	△ 〇〇〇	〇〇〇
合計		〇〇〇	0	〇〇〇	△ 〇〇〇	〇〇〇